



图书基本信息



内容概要

能楽論『風姿花伝』と謡曲「忠度」「井筒」「隅田川」「船弁慶」を収録。

「能」の神髄にふれる。
「初心忘るべからず」「離見の見」「秘すれば花」など世阿弥ならではの魅力的な言葉に満ちた『風姿花伝』は、人生論としても楽しめる。

「日本の古典をよむ」シリーズ最終巻。
全20冊ついに完結!



作者简介

世阿弥（ぜあみ、せあみ（改称前）世阿彌陀佛、正平18年/貞治2年（1363年）?- 嘉吉3年8月8日（1443年9月1日）?）は日本の室町時代初期の猿楽師。

父の観阿弥（観阿彌陀佛）とともに猿楽（申楽とも。現在の能）を大成し、多くの書を残す。
観阿弥、世阿弥の能は観世流として現代に受け継がれている。

幼名は鬼夜叉、そして二条良基から藤若の名を賜る。
通称は三郎。
実名は元清。

父の死後、観世大夫を継ぐ。

40代以降に時宗の法名（時宗の男の法名（戒名）は阿弥陀仏（阿彌陀佛）号。

ちなみに世は観世に由来）である世阿弥陀仏が略されて世阿弥と称されるようになった。

世の字の発音が濁るのは、足利義満の指示によるもの。

正しくは、「世阿彌」。



版权说明

本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介，请支持正版图书。

更多资源请访问:<http://www.tushu007.com>